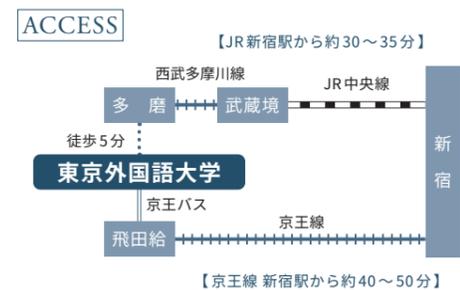


国立大学である東京外国語大学は、日本の開国以来、国の近代化を支える有為の人材を多数輩出し、歴史の荒波を生き抜こうともがく日本とともに歩んできました。その伝統は今現在も、本学の教育の質の高さ、集まる学生の高い志、地球上の国や人々との結びつきを求める姿勢に現れています。

受験生ナビ
Hello! TUFSで
最新情報をチェック!



■ 言語文化学部 ■ 国際社会学部 ■ 国際日本学部

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

入試に関するお問い合わせ先(入試課)

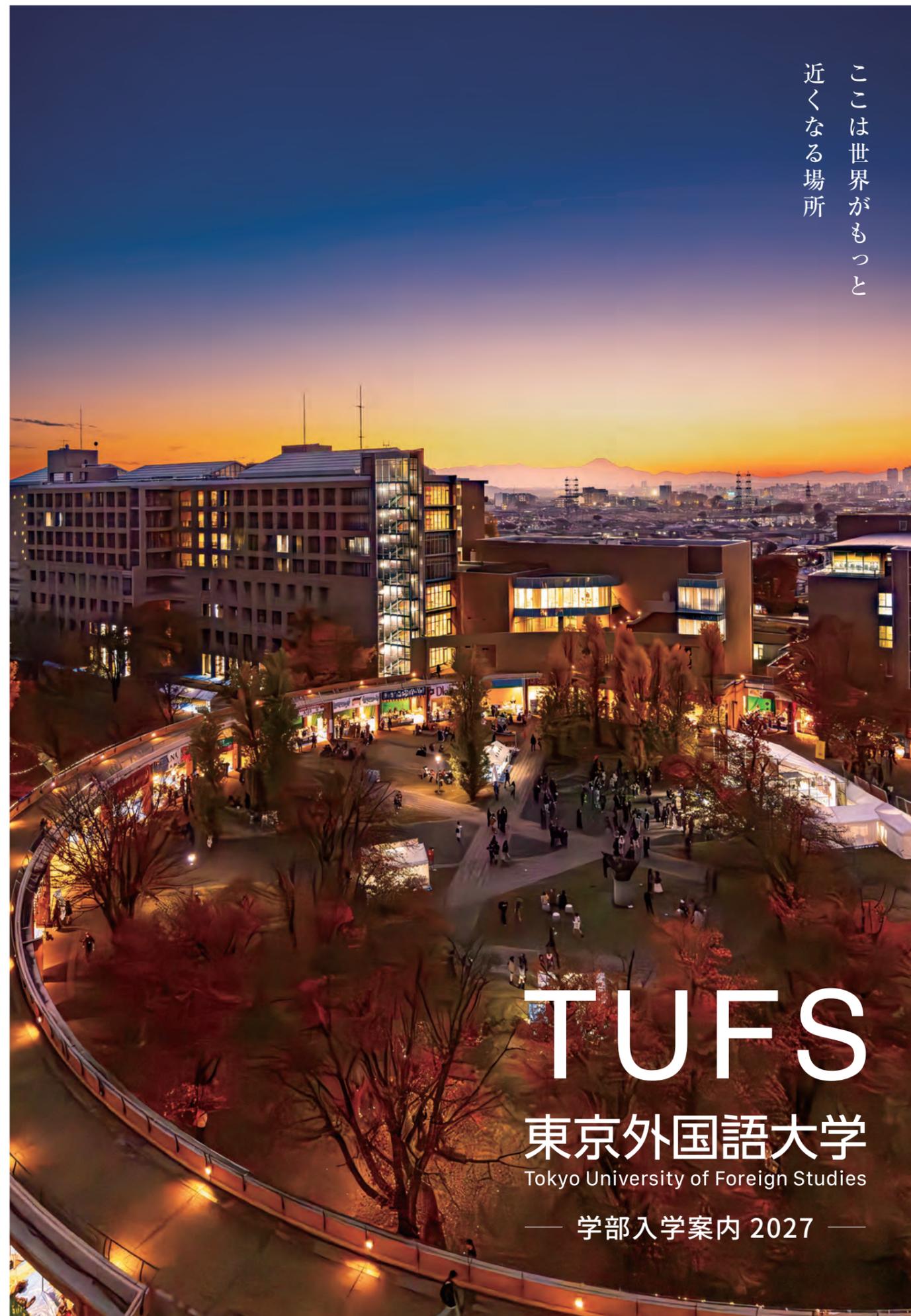
入試情報 TEL 042-330-5179

入試広報イベント TEL 042-330-5158

<https://www.tufs.ac.jp/>



ここは世界がもつと
近くなる場所



世界のことばと社会を知る

計り知れない成長と可能性が待っている

高速化が進む現代社会において、「言語」はその価値を増しています。

モバイルデバイスやAIが身近なものになり、迅速な「翻訳」が得られやすくなった今、

相手の背景や心情を汲み取り、こちらの真意を伝える、

心のかもった真の「コミュニケーション能力」が必要になってくるのです。

東京外国語大学では、多様な言語と社会、その社会の特性や課題を広く深く扱い、

世界中をシームレスにつなぐ人材を育成します。

CONTENTS

Why TUFU? 03

東京外大から世界へ

留学プログラム 06

留学体験学生インタビュー 07

卒業生メッセージ 09

東京外大での学び

学部インデックス 14

世界教養プログラム 15

言語文化学部 17

国際社会学部 21

国際日本学部 25

東京外大での生活

現役学生に聞く、東京外大が選ばれる理由とは 30

キャリア形成と就職活動支援 31

東京外国語大学附属図書館 33

部活・サークル 35

外語祭 37

キャンパスマップ 39

入学者選抜情報 41



Why TUEFS?

東京外国語大学ならではの多彩な強みを、さまざまな「数字」でご紹介します。
数字から浮かび上がる、新たな一面を発見してください。



海外協定大学

187

大学

68の国・地域の187大学と協定を結んでいます。協定校の学生が来日して本学で学ぶ一方、本学からも学生を派遣します。

留学体験学生インタビュー >> P.07



留学生の出身国

80

カ国

世界80カ国から690人の留学生が本学を訪れています。キャンパスでは世界各地の言葉が使われ、服装も色とりどりで。



数字で見る
東京外国語大学



国内連携大学・機関

24

機関

キャンパスを飛び出し、異なる環境で学ぶことは貴重な体験です。本学では、大学をクロスして学べる制度を設けています。

世界教養プログラム >> P.16

はじまりはペリー来航

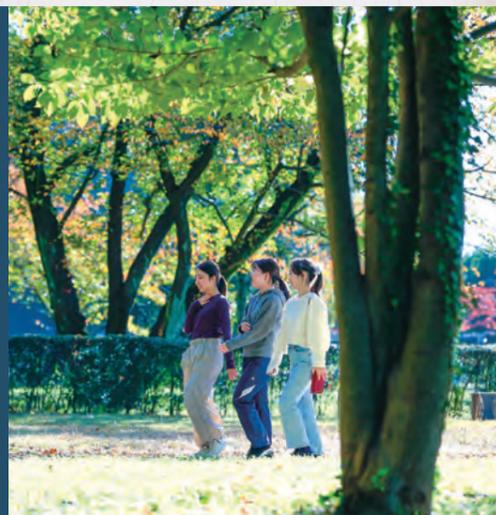
153

年

江戸時代末期に翻訳などができる人材の養成を目的に誕生した蕃書調所が本学の起源となる機関です。



歴史・沿革



学べる言語

80

言語

15地域28言語の教育体制を備えています。主専攻以外の52言語と合計で80言語の授業を開講しています。

世界教養プログラム >> P.15



附属図書館所蔵言語資料

280

言語以上

学んだ言語を使って研究を深めていく際に、図書館の存在が欠かせません。280を超える言語の資料を含む約88万冊の蔵書があります。

東京外国語大学附属図書館 >> P.33



留学者数

1,405

名

2024年度実績では、558名が短期留学、847名が長期留学、計1,405名が留学を経験しました。中には在学中に2回以上留学する学生も。

留学プログラム >> P.06



部活・サークル数

97

団体

大学公認団体として、体育系48団体、文化系49団体が活動しています。キャンパスのあちこちで民族舞踊の練習も見られます。

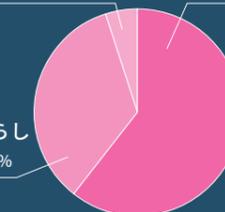
部活&サークル >> P.35



一人暮らし・
自宅暮らし・寮

寮暮らし 4.8% 実家暮らし 60.6%

一人暮らし 34.6%





詳細な留学案内はwebにてご確認ください。

東京外大から世界へ

東京外国語大学は、学生に多様な留学の機会を提供しています。長期留学プログラムや短期留学プログラムを通じて、専門的な知識と国際的な視野を広げることができます。

長期留学プログラム

【グローバル人材への飛躍】 ——長期留学と異文化体験による総合的な成長

協定校との学生交流協定に基づき派遣される派遣留学、単位認定申請をした上で休学して留学する休学留学などのほか、海外企業でのインターンシップ等に参加する学生もいます。長期留学を経験することで、語学運用能力の向上はもちろん、多文化共生社会を生きる上で大切な異文化理解力、異文化感受性の向上など、全人格的な成長にも繋がります。留学支援共同利用センターでは、留学に関する個別相談ができ、在学生の留学をサポートしています。



奨学金受給状況(派遣留学)



日本学生支援機構が実施する海外留学支援制度(協定派遣)による奨学金受給者が最も多く、民間財団や各国政府による奨学金を受給する学生もいます。

短期留学プログラム

【まずはショートビジットへ】 ——多彩な経験で国際的視野を広げる

夏学期や冬学期には、本学の協定校が実施するサマースクールやスプリングスクールに参加するショートビジットプログラムのほか、各種スタディツアーも開講されています。これらのプログラムには、1、2年次の学生が多く参加するのが特徴です。ショートビジットプログラムでは、語学研修目的のコースだけでなく、英語で専門分野を学ぶコースも用意されています。多彩な経験を通じて国際的な視野を広げる絶好の機会となっています。



ショートビジット留学者



2024年度は32か国・地域にわたって、22の言語を学ぶプログラムが提供されました。

派遣留学等が可能な主な海外の大学 世界187大学と協定を締結

アメリカ: テキサス大学オースティン校	イタリア: ボローニャ大学	中国: 北京大学
カナダ: プリティッシュ・コロンビア大学	スペイン: マドリード自治大学	台湾: 国立台湾大学
イギリス: ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)	オーストリア: ウィーン大学	インド: デリー大学
オーストラリア: メルボルン大学	チェコ: カレル大学	メキシコ: メキシコ国立自治大学
フランス: パリ政治学院	タイ: チュラーロンコーン大学	韓国: 延世大学
ドイツ: ベルリン自由大学	シンガポール: シンガポール国立大学	ブラジル: リオ・デ・ジャネイロ州立大学



学生交流等協定校一覧はwebにてご確認ください。



| 長期留学 |
南アフリカ/
ステレンボッシュ
大学
.....
Stellenbosch University,
South Africa

多様な民族が暮らす南アフリカへの 留学で、価値観が大きく広がる

当初アフリカへの長期留学には躊躇いがありましたが、留学報告会での先輩の経験談が後押しとなりました。南アフリカを選んだのは、ポスト・アパルトヘイトの現状を自分の目で確かめたいと考えたからです。留学先の大学では、社会学を中心に南アフリカの歴史学や開発学、生態系に関する授業なども受講しました。何を学ぶにもまずはアパルトヘイトの歴史をふまえた議論が行われる点が非常に印象的でした。長期休みに友人と南部アフリカ6カ国巡ったキャンプ旅行は、1年間の留学だからこそのことです。レインボー・ネーションと言われる多民族国家への留学で、自分の価値観の狭さに気づくと同時に新たな世界へ一歩踏み出せました。



国際社会学部 アフリカ地域／英語 4年
榎林 輝奈乃さん



| 長期留学 |
ポーランド/
ヤギェロン大学
.....
Jagiellonian University,
Poland

大学で学ぶだけでなく、ウクライナ避難民 支援など幅広い経験を得る

留学前に半年間ヤギェロン大学からの交換留学生のパティを務めて親しくなったこともあり、私の留学中も自然と彼の仲間たちの輪に溶け込めました。現地ではポーランド語だけでなくポーランドの歴史や文化、文化遺産活用についても学びました。また現地企業のインターンシップを通じてウクライナ避難民支援活動にも参加しました。将来は日本と世界をつなぐ橋渡しを務めるとともにウクライナの復興支援にも携わりたいと考えています。



言語文化学部 ポーランド語／中央ヨーロッパ地域 4年
小宮 康暉さん

留学体験学生インタビュー

実際に海外で学んだ学生たちの体験談をお届けします。異文化に触れ、語学力を磨き、多様な価値観を持つ人々と出会う海外留学で得られる経験は、言語や文化を深く理解するための貴重な機会です。また、現地での生活や学びを通じて培われたスキルや幅広い視野は、人生やキャリアを豊かにするかけがえのない財産となることでしょう。

※学年等は取材当時

母語や文化背景の異なる相手とも 親しく交流し、大切な友人ができた

幼い頃からフィンランドに憧れがあり、高校生の頃には日本の教育格差への問題意識からフィンランドの教育システムに関心を持つようになりました。留学中の学業は日々新しい発見があり、とても楽しく勉強することができました。また、大学や寮での生活では世界中から来た留学生や現地の方々との交流を深め、様々な考え方に触れました。その中で、母語や文化が違っても深い関係を築けることを実感しました。今後もこのような出会いと人とのつながりを大切にしていきたいです。



国際日本学部 4年
石渡 百合子さん



| 長期留学 |
フィンランド/
オウル大学
.....
University of Oulu,
Finland

留学で培った語学力と国際感覚を活かし、 国際人として活躍するキャリアを目指す

中央アジア地域専攻で、ウズベキスタンへのスタディツアーに参加した経験から、現地の人々の暮らしを体験したいと考え、ホームステイができるプログラムに参加しました。大学ではロシア語と基本のキルギス語を学びながら、現地の企業やJICA等での活動プログラムに参加しました。キルギス元駐日外交官の方とセッションできたのは貴重な経験です。国連で働く国際法律家のホストマザーの姿にも刺激を受け、私も日本と中央アジアを舞台に国際的に活躍する人になりたいと強く思うようになりました。現在はロシア語、ウズベク語、英語を学びつつ、専門分野では国際法を学んでおり、今後は中央アジアの国際関係の研究を進めていきます。



国際社会学部 中央アジア地域／ロシア語 2年
小野 善公さん



| 短期留学 |
キルギス/
キルギス国立
総合大学
.....
Kyrgyz National University
named after Jusup Balasagyn,
Kyrgyz



| 長期留学 |
ヨルダン/
ヨルダン大学
.....
The University of Jordan,
Jordan

現地の学生の考えを直接聞くことで、 ありのままの中東政治を知る

中東情勢が動善懲悪論的に解釈される潮流の中、ヨルダンへの留学によって現地の学生の政治に対する考えを直接聞き、等身大の中東政治を感じる事ができたのは貴重な経験です。またヨルダンの豊かな自然にも感銘を受けました。現在は、ゼミでヨルダンの対外政策を研究しています。デジタル化が進む現在においても、真の異文化理解には現地足を運び五感を駆使して探求する姿勢が欠かせません。貴重な経験を学業に活かしていきます。



国際社会学部 中東地域／アラビア語 4年
齋藤 公佑さん

卒業生メッセージ

Messages from Graduates

言語文化学部

School of Language and Culture Studies



朝日新聞社にて
イスタンブール支局長として勤務

激動の国際情勢について、
広い視野で日本の読者に解説できる記者を目指す

大学で学んだロシア語や英語と留学で得た国際感覚を活かしたいと思い、この仕事に就きました。ロシアのウクライナ侵攻後は現地で通訳なしの取材を行いました。現在はパレスチナ問題など中東情勢を担当しており、将来は旧ソ連圏やグローバルサウスの視点を含む幅広い角度から国際情勢を伝えていきたいです。

言語文化学部 ロシア語／ロシア地域
2017年卒 根本 晃さん

外務省 在パキスタン日本大使館にて
外交官として勤務

唯一無二の言語文化の知識を
外交分野で発揮

日本人には馴染みの薄い南アジア地域の言語文化を学ぶことで唯一無二の専門性を身につけたいと考え、東京外大に入学しました。現在は、現地の日本大使館でウルドゥー語の知識を活かして、主にパキスタンの内政及び外政情勢の動向把握と分析を担当しています。今後は周辺地域や他分野の業務経験も積み、日本外交に貢献していきたいです。

言語文化学部 ウルドゥー語／南アジア地域
2020年卒 鏡 裕樹さん



国際社会学部

School of International and Area Studies



Verod-Kepple Africa Venturesにて、アフリカの新産業を支えるスタートアップ投資に取り組む

東京外大での「寄り道」が、世界と仕事をつなぐ原点になった

ニッチへの関心をきっかけに東京外大へ進学しましたが、在学中に得たものは専門知識ではありません。学内外を問わず多様な人と出会い、ある飲み会で「スーダン帰り」の先輩の話に触れたことが、アフリカへの関心を決定的にしました。その後ボツワナを訪れ、現在は民間金融の立場からアフリカや新興国の経済発展に携わっています。東京外大は、思いきり寄り道し、国境を越えて挑戦することを受け止めてくれる場所です。その経験が、今の仕事と世界への視線につながっています。

外国語学部 欧米第一課程ドイツ語専攻
2012年卒 山脇 遼介さん

農林水産省にて環境・経済・社会の持続可能性を見据えた政策形成に取り組む

イタリアでの留学経験が、政策で社会を支える仕事へのきっかけに

イタリア留学で社会不安や移民問題を目の当たりにし、安心して暮らせる社会を支える制度や政策の重要性を実感しました。帰国後は、留学中の経験が食料安全保障への関心と結びつき、「食」を軸に社会の根底を支える分野に携わりたいと考え、農林水産省へ。これまでに国際交渉や法改正、環境・人権配慮の仕組みづくり等に携わっています。東京外大で培った、多様な立場に立って物事を考える視点は、国内外の利害を調整する行政の仕事に今も生きています。

国際社会学部 西南ヨーロッパ地域／イタリア語
2017年卒 大出 迪子さん



国際日本学部

School of Japan Studies



住友商事にて、多様性の中で培った力を活かし海外通信事業に取り組む

多様性と共に学んだ日々が、世界で働く力に

中学時代、地元・四街道市の姉妹都市への交換留学を経験し、海外への関心を抱きました。その思いを深めたのが、東京外大での学生生活です。日本人学生と留学生が共に学ぶ環境の中で、多様な価値観に日常的に触れ、外語祭では世界各国の文化を共有する喜びを実感しました。東京外大で培った、異なる他者に対して臆せず向き合う姿勢は、現在総合商社で多国籍の仲間と海外事業に携わるうえで大きな支えとなっています。

国際日本学部
2024年卒 藤澤 祐香さん

国連開発計画モンゴル事務所での実務を糧に、米国の大学院で国際発信の専門性を深める

東京外大は、未知の国で見つけた自分だけの居場所

17歳で母国モンゴルを離れ、日本で大学生活を始めた当初は、不安でいっぱいでした。そんな私にとって東京外大は、初めて自分の手で築いた「家」のような存在です。多国籍の学生と共に学び、外語祭で文化を分かち合い、少しずつ自分の居場所を見つけていきました。日本語を学ぶだけでなく、日本を多角的に理解する学びは、世界と向き合う視点を育ててくれました。東京外大で得た支えと出会いが、国際協力の現場へと進む今の私の原点になっています。

国際日本学部
2023年卒 アイヌル・アイベックさん





東京外国語大学
紹介動画は
こちらから



教育体制は
webサイトも
ご確認ください

東京外大での学び



多様な言語と文化を深く学び
「世界の架け橋」を目指す

School of Language and Culture Studies

言語文化学部

P.17

学びのキーワード

- #高い言語能力
- #文化
- #文学
- #芸術
- #思想
- #宗教
- #ポップカルチャー
- #通訳
- #英語教育

コース

- ◆ 地域コース
- ◆ 超域コース



グローバルな問題の解決に
現地の視点から取り組む

School of International and Area Studies

国際社会学部

P.21

学びのキーワード

- #歴史
- #暮らし
- #社会
- #人権
- #ジェンダー
- #環境
- #グローバリズム
- #国際関係
- #法
- #政治
- #経済
- #共生社会の実現

コース

- ◆ 地域社会研究コース
- ◆ 現代世界論コース
- ◆ 国際関係コース



世界の中の日本を学ぶ

School of Japan Studies

国際日本学部

P.25

学びのキーワード

- #留学生と一緒に学ぶ
- #英語で日本のこと
- #現代日本が抱える問題
- #日本の社会や文化
- #日本語教育

4つの分野

- ◆ 日本社会分野
- ◆ 日本文学・文化分野
- ◆ 日本語学分野
- ◆ 日本語教育学分野



大学院総合国際学研究科

本研究科は、世界諸地域の言語・文化・社会をめぐる個別的かつ総合的な研究を主体とする我が国でも有数の教育機関であり、これらの分野における国際的拠点としての使命を担っています。グローバル化の進行する現代社会で真に貢献できる人材には、専門分野での深い知識や高度な技術が求められています。研究力に加え、総合力、実践力、そして世界で活躍するうえで必要な日本力を身につけ、グローバルに活躍する人材を育成します。



大学院総合国際学
研究科については
webでもご確認
いただけます

Global Liberal Arts Program

世界教養プログラム

P.15

Global Liberal Arts Program

知性と教養を身につけるプログラム

世界教養プログラム

学部にかかわらず、入学後は国際社会で活躍するための知性と教養を身につける「世界教養プログラム」の科目を履修します。特に、言語・地域に関しては世界15地域28言語の教育体制を整えています。

※入学時には異なる授業科目となる可能性があります。
 言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部 ※記号がついていないものは3学部共通

英語学習サポート

英語を学ぶ授業以外にも、英語で学ぶ授業（「英語による科目」）や留学生との共学など、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みが用意されています。その中心となっている英語学習支援センター（ELC）では、さまざまな「英語自律学習プログラム」を提供し、学生の皆さんの英語学習を総合的にサポートしています。英語力を向上させるための方策は、本学のすべての学生に開かれています。



大学で学ぶための技術と幅広い教養を習得する

本学学生として必要な知識とものの考え方、そして技能を身につけるため、また、大学で学ぶための基礎的な技能や論理的思考方法を習得します。さらに、現代社会で必要とされる基礎的な知識と技能、そして幅広い教養を身につけます。



TOPIC 国内の他大学・機関との連携

他大学の科目を受講して学びの多様性を広げよう

東京科学大学、一橋大学、東京農工大学、電気通信大学など国内の24の大学・機関と単位互換制度などの連携協定を結んでいます。他大学で開講されるユニークな科目を学び、学外へとネットワークを広げましょう。

言語力を身につける

世界15地域28言語

入学時に選択した各地域の専攻言語に加えて、各自の興味や関心、あるいは必要に応じて、英語科目や複数の言語を組み合わせて履修します。



GLIP 英語科目群	【専攻言語科目】				
基礎日本語科目 日	英語	スペイン語	朝鮮語	ベトナム語	アラビア語
専攻言語科目群 言 社	ドイツ語	ポルトガル語	インドネシア語	カンボジア語	ペルシア語
諸地域言語科目	ポーランド語	ロシア語	マレーシア語	ビルマ語	トルコ語
専門日本語科目 日	チェコ語	ウズベク語	フィリピン語	ウルドゥー語	ヒンディー語
教養外国語科目群	フランス語	モンゴル語	タイ語	ベンガル語	
	イタリア語	中国語	ラオス語		
	【教養外国語科目】				
	ドイツ語	イタリア語	ポルトガル語	中国語	アラビア語
	フランス語	スペイン語	ロシア語	朝鮮語	

グローバル人材育成プログラム (GLIP)

GLIP英語科目では、高校レベルの英語を高度な能力へと高め、ビジネス界で通用するレベルまでステップアップさせることを目標に、段階的に学んでいきます。英語を専攻言語としない学生も、GLIP英語科目により高い英語力を身につけることができます。



GLIPの詳細はwebサイトからご確認ください。

地域への理解を深める

それぞれが専攻する地域についての理解を深め、各地域の文化・社会について、さまざまな観点から総合的に理解することを目的としています。



地域科目群 言 社	【地域基礎科目】				
	北アメリカ	西南ヨーロッパ	ロシア	東南アジア	アフリカ
	北西ヨーロッパ	イベリア	中央アジア	南アジア	オセアニア
	中央ヨーロッパ	ラテンアメリカ	東アジア	中東	

専攻言語／地域を中心に幅広く学び、その後の研究の道筋を築く

高校生の時から世界史が好きで、授業を通してドイツ近現代史に興味を持ちました。ドイツ語と歴史学を学びたいと考え、さまざまな大学を検討した結果、東京外国語大学に進学しました。入学後の世界教養プログラムでは、ドイツ語や地域研究の授業を中心に学んだことでより専門的な内容を学ぶための土台を築くことができました。同時に、ジェンダー論や国際法など興味を持った分野を幅広く学ぶことで、多面的に物事を考える訓練も積むことができました。学生一人ひとりが専攻する言語／地域を持ち、異なる学問分野を跨ぎながら知を積み重ねられる「知ることへのハードルの低さ」は、本学の魅力の一つだと考えています。



大学院総合国際学研究所 博士前期課程 2年 世界言語社会専攻 国際社会コース (国際社会学部 中央ヨーロッパ地域 / ドイツ語 2024年卒) 星野 花奈さん

<p>言語力を身につける</p> <p>【専攻言語】 ドイツ語Ⅰ～Ⅲ</p> <p>1・2年次には、週に5回ドイツ語を学びます。文法、読解、作文、聞き取りを中心にした授業が週3回、週2回は会話です。3・4年次には中級・上級レベルの会話、読解、作文などに関心に応じて選択します。</p>	<p>地域への理解を深める</p> <p>中央ヨーロッパ 地域基礎</p> <p>中央ヨーロッパ地域の文化・社会についてさまざまな観点から基礎的・総合的に理解することを目的として、1～2年次の間に履修します。専攻地域以外についての地域基礎科目を受講することも可能です。</p>	<p>幅広い教養を身につける</p> <p>哲学、キャリア科目、医療史</p> <p>さまざまな視点を持ちたいと思ひ、もともと関心があった歴史学だけではなく、哲学、新聞社によるリレー講義、医療史など、自分の関心が赴くままにいろいろな授業を履修していました。</p>
<p>【教養外国語・諸地域言語】 朝鮮語A1～B2、 ポーランド語1</p>	<p>【GLIP英語科目】 英語A1～A3</p>	

言語文化学部

School of Language and Culture Studies

学びのキーワード

#高い言語能力

#文化

#文学

#芸術

#思想

#宗教

#ポップカルチャー

#通訳

#英語教育



言語文化学部のwebサイトもご確認ください

コース

◆ 地域コース

◆ 超域コース



言語文化学部の紹介動画はこちらから



学びの特長

多様な言語と文化を深く学び、「世界の架け橋」を目指す

言語文化学部では、世界の諸地域の言語や文化の学修に重点を置いた教育を行っています。4年間を通して、入学時に選択した言語や英語、さらに第3、第4の外国語を、多様に組み合わせながら高いレベルで習得することがひとつの目標です。また、3年次からは「地域コース」か「超域コース」のいずれかを選択して、専攻した地域の言語や文学、文化、あるいは地域を超えた特定の学問分野について、専門的な研究を進めていきます。世界を見渡すと、複数の言語や文化が併存する多言語・多文化社会が広がっています。また各地で、文化摩擦や宗教対立など言語や文化をめぐるさまざまな課題が生じています。政治的な紛争も、その背景には言語や文化の問題があることは少なくありません。この複雑な現代社会にあっては、多様な関係性を読み解くことのできる洞察力や理解力、異なる文化を受け止めながら横断する柔軟な発想が求められています。言語文化学部は、こうした力を備え、文化の媒介者として活躍する国際教養人の養成を目指します。



卒業後の進路

出版、広告、観光などに関わる職業／文化事業の企画に関わる職業／新聞社・放送局などのマスメディア／国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど）／通訳・翻訳に関わる職業／英語など外国語教育に関わる職業／大学院進学 など

取得可能な教員免許状

言語文化学部 言語文化学科	中学校	高等学校
	外国語	外国語

Message from the Dean 学部長メッセージ

言語文化学部という名称から、外国語を学ぶことが中心だと思っている人がいるかもしれません。確かに、外国語の習得は東京外国語大学、特に本学部では重要な位置を占めます。ただし、言語は単なるツールではありません。言語を通じて、地域や文化、そしてその言葉を使う人々を理解することにこそ大きな意味があります。その上で、特定の地域の言語や文学、文化、あるいは地域を超えた人文科学の理論について研究していくのが本学部です。4年間の学びによって得られる世界諸地域の言語や文化に対する深い知見は、皆さんが新たな世界の扉を開く力になってくれるはずです。

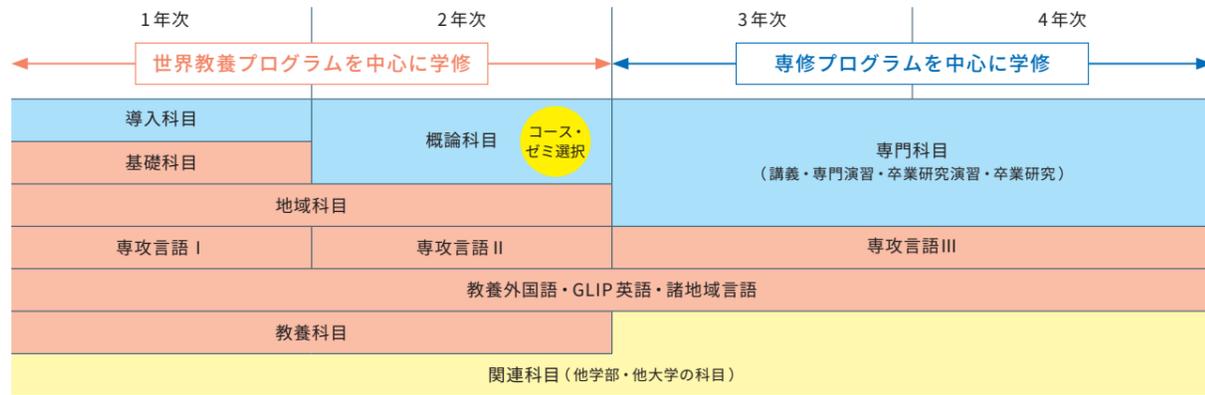
言語文化学部長 三宅 登之



言語文化学部教員紹介はこちらから



言語文化学部 4年間の学修の流れ



1、2年次は、主に「世界教養プログラム」で専攻言語やその他の言語、専攻地域に関わる基礎的な内容や教養科目を学びます。併せて、専門分野の導入科目や概論科目も履修します。3年次以降は2つのコースのいずれかに所属し、専門的・学術的な学びに取り組んでいきます。



世界教養プログラム P.15 ▶

大学生としての基本的な能力、専攻地域についての基本的知識、専攻言語やその他の言語などを身につけます。3学部共通のプログラムです。

専修プログラム

大学での学びの集大成である「卒業研究」に向けて、「導入科目」→「概論科目」→「専門科目」というステップで専攻領域の学びを身につけていきます。

3年次からは、「地域コース」と「超域コース」という2つのコースのいずれかを選択して専攻領域の勉強を進めます。

2コースに分かれて専門性を究める

3年次の春学期からは、個人の興味・関心に合わせて「地域コース」「超域コース」の2つのコースに分かれます。専門領域の学びを深化させる段階に入り、指導教員が担当する専門演習（本ゼミ）がスタート。4年間の集大成となる卒業研究へと進んでいきます。



地域コース

多様な文化と言葉を学ぶ

世界の10地域の特定の言語圏について、言語学、文学、思想、宗教、表象文化論などの特定の学問分野に重点を置いて学び、複数の学問分野を横断し、異なる学問的な視点から学びます。地域に共存する多様な言語、文化を広く学び、その地域に対する深い知見を蓄えることによって、異なる文化を理解し、新しい可能性を開拓する力を磨きます。



超域コース

言語・文化の違いを超えて、専門知識を学ぶ

言語学・言語情報処理学、言語教育学、通訳・翻訳、文学・文化理論、人間科学の5つの学問分野のなかから一つを選び、地域を超えた言語研究・文化研究を行います。専攻する言語と地域を常に視野に入れながら一つの学問分野を専門的に学ぶことで、世界のさまざまな地域の現実に根ざした、豊かな教養を身につけます。

PICK UP 1



イタリア語学演習

西南ヨーロッパ言語研究演習

担当教員 土肥 篤

人間が話すことばは、そのあり方も研究するためのアプローチも多様です。このゼミでは「ことば」と「イタリア」の2つをキーワードに、自分で立てた問いを通して対象を分析する能力を身につけます。

PICK UP 1



ハルキ・ムラカミを読む

文化・文学研究演習

担当教員 邵 丹

村上春樹の作品を日本語と英語で交互に読む過程でポストモダン社会の文化様式を学び、構造主義や精神分析、フェミニズム批評といった現代文化のあり方への理解を深めます。

Interviews with Current Students School of Language and Culture Studies

言語文化学部 | 在学生インタビュー

Q

なぜ言語文化学部を選んだのですか？

Answer

幼い頃から「ことば」への関心が強く、世界への興味も持っていました。言語を学ぶことを通じて、その背景にある文化や社会まで深く理解できる点に惹かれ、言語文化学部を選びました。



言語文化学部 ペルシア語 / 中東地域 4年（取材当時）
金井 綾花さん

ことばから

世界を深く理解する学び

小さい頃から「ことば」に惹かれ、世界への関心も高かった私は、その二つを同時に探究できる場として言語文化学部を選びました。現在はペルシア語圏の言語学を専門に、ニュース記事や詩の講読を通して、イランの文化や社会、情勢への理解を深めています。オープンキャンパスで出会ったペルシア語は、長い歴史と美しさを備えた言語であると同時に、偏ったイメージで語られがちなイランを等身大で見つめ直すための扉でもありました。学内には多様な背景を持つ学生が集い、互いの関心や知見を尊重し合える空気があります。語学をツールに世界を多角的に学び、自分自身の視野を広げていけることが、東京外大で学ぶ最大の魅力だと感じています。

時間割例（4年次春学期）

	月	火	水	木	金
1					
2	ペルシア語 講読Ⅲ-1				
3				日本古典文学	
4		教養外国語 (スペイン語 B1)			
5		卒業研究演習: イラン及びイラン 語圏の言語文化		アジアの言語1: パロチー語と その民族文化	
6					

PICK UP CLASS

アジアの言語1：パロチー語とその民族文化
パキスタン、イラン、アフガニスタンにまたがる地域で話されているパロチー語と文化を少人数で学び、専攻を超えて知見を共有できた大学ならではの和やかで刺激的な授業が楽しかったです。

国際社会学部

School of International and Area Studies

学びのキーワード

- #歴史
- #暮らし
- #社会
- #人権
- #ジェンダー
- #環境
- #グローバリズム
- #国際関係
- #法
- #政治
- #経済
- #共生社会の実現



国際社会学部の
webサイトも
ご確認ください

コース

- ◆ 地域社会研究コース
- ◆ 現代世界論コース
- ◆ 国際関係コース



国際社会学部の
紹介動画は
こちらから



学びの特長

高度な国際職業人となるために、本当に必要な実践知を身につける

国際社会学部では、2年次までに培った現地語の運用力と確かな現地理解を土台として、社会科学系の専門分野を学修する点に特徴があります。本学部ならではの学びがスタートするのは、2年次秋学期に始まる専門科目、そして3年次の専門演習からです。その学問分野は、大別して経済学系、政治学系、歴史学系、地域研究系、ジェンダー・社会学系、教育学系の6系統にわたり、50を超える個性あふれるゼミが開講されています。ゼミを開く教授陣は、世界の現状を専門の見地から解説し、世界諸地域の成り立ちを歴史・社会・文化の面から深く考察し、現代世界の共通課題についてその解決の道筋を提案できる専門家たちです。こうした専門の学びは、本学の留学プログラムとがっちり連結されています。現地社会での経験を通じて、座学で学んだ知識は「現場知」へ、1年次から積み上げてきた言語力は「対話力」へと磨かれていきます。現地の人々との間に確かな「信頼」を構築し、現地の目線から国際社会と向き合うことのできる人材の育成を、本学部は目指しています。



卒業後の進路

外交官などの国家公務員や地方公務員／国際的に展開する企業（金融、商社、メーカー、コンサルティングなど）／国際機関や国際的に活動するNGO／新聞社・テレビ局などのマスメディア／出版社／社会科・地理歴史科の中学・高校教員／大学院進学 など

取得可能な教員免許状

国際社会学部 国際社会学科	中学校	高等学校
	社会科	地理歴史科

Message from the Dean 学部長メッセージ

東京外国語大学の国際社会学部は、他大学の国際系学部とは何が違うのでしょうか。それは、1・2年次に専攻言語の学修に集中的に取り組み、専攻地域の歴史と現在を学ぶことで確かな土台を築き、そのうえで政治学、経済学、教育学、歴史学、地域研究、文化人類学、社会学、ジェンダー研究といった50以上の分野のゼミに分かれて専門を磨く、独自のカリキュラムにあります。また、短期・長期を組み合わせた多彩な海外留学制度が外国語や専門の学びに直結している点も、特徴です。どの現場でも活躍できる国際的な知性と対応力を養い、世界へと果敢に漕ぎだしていきましょう。

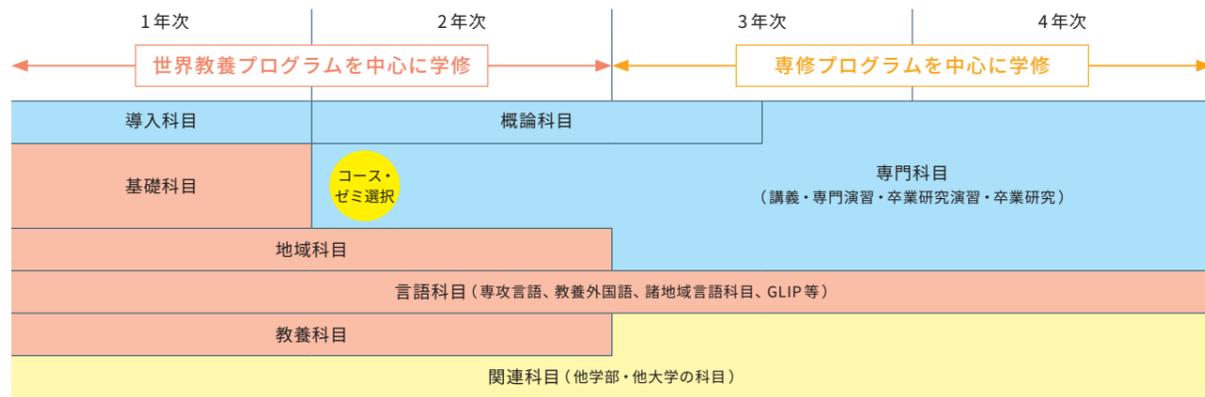
国際社会学部長 千葉 敏之



国際社会学部教員
紹介はこちらから



国際社会学部 4年間の学修の流れ



1・2年次は、まず集中的に専攻地域の言語科目を学びます。また、地域に関わる地域基礎科目や教養科目を学びながら、専門分野の導入科目、つづいて概論科目を学びます。2年次後半からは、コースごとの専門科目（講義）、3年次からは専門演習（本ゼミ）が始まり、卒業研究に向けて学びを深めていきます。



世界教養プログラム P.15 ▶

専攻地域の言語科目、地域基礎科目とともに、大学生としての幅広い教養を身につけるための科目群を学ぶプログラムです。

専修プログラム

自分の専門分野を学ぶために、導入科目、概論科目、専門科目というステップを踏みながら学んでいくプログラムです。指導教員の専門演習、卒業研究演習を通じて、仲間と共に卒業研究を仕上げていきます。

3コースに分かれて専門性を究める

2年次秋学期からコース別の専門科目の履修をスタートし、3年次春学期からは指導教員が開く専門演習（本ゼミ）において、専門分野の学びを深め、研究テーマを絞り込んでいきます。また、長期留学での学修を活かしながら、集大成となる卒業研究に取り組んでいきます。



地域社会研究コース

地域のリアルを
五感でつかむ

世界が激変する今、さまざまな地域の構造的理解がますます重要になっています。このコースでは、「地域を見る目」を専門的に養います。

PICK UP!



医療・身体・環境から見るベトナム近現代史
東南アジア地域研究
担当教員 小田 なら

近現代ベトナムの医療・身体・環境に関する個別のテーマを取り上げ、ベトナム内外の政治・社会動向と人々の生活をつないで理解する視座を学びます。



現代世界論コース

現代世界の諸問題を
批判的に洞察し、本質をつかむ

現代世界で生じる複雑多様な問題に対し、批判的思考で問題の本質をとらえ、粘り強く働きかけることのできる力を身につけます。

PICK UP!



日常生活とつながるジェンダー
ジェンダー論
担当教員 竹田 恵子

日常的に構築される「男らしさ」や「女らしさ」にかかわる規範や偏りを統計資料などにより検討し、私たちが生きる社会の解像度を上げます。



国際関係コース

国際社会を生き抜くための
知的技術を身につける

それぞれの地域に関する知識を活かし、社会科学とよばれる学問領域に沿って、国際社会を読み解くための知識と技術を身につけます。

PICK UP!



記憶の政治学
国際協力学演習
担当教員 片岡 真輝

記憶の社会的・政治的な役割や影響を学び、輪読やグループワークを通して国際関係や地域研究における記憶理論を用いた分析力を磨きます。

Interviews with Current Students School of International and Area Studies

国際社会学部 | 在学生インタビュー



Q
なぜ国際社会学部を選んだのですか？

Answer

世界史・地理への関心からアフリカに興味を持ち、学士課程では日本で唯一アフリカ地域を専門とした専攻があるこの学部の魅力を感じ、進学を決意しました。またアフリカ地域専攻のウェブサイトも見て、入学後のイメージを膨らませました。

国際社会学部 アフリカ地域 国際関係コース 4年
山本 貴仁さん

マクロとミクロを往復し、 アフリカを深く学ぶ

現在は国際金融論や計量経済学を扱うゼミに所属し、データ分析を通して経済構造や社会現象を俯瞰的に捉える力を養っています。一方で、社会の実態を人々の視点から理解する重要性も感じ、サブゼミを活用して文化人類学のゼミにも参加しています。留学先のガーナではフィールドワークを行い、伝統的権威（≒王様）と開発アクターの関係性をテーマに研究を進めました。数値で社会を捉える「マクロ」の視点と、現地に入り込む「ミクロ」の視点を行き来することで、複雑なアフリカ社会を多角的に理解できるよう心がけています。東京外大には専門地域に精通した教員や留学制度、異なる地域を学ぶ学生との交流があり、自分の視点や価値観を問い直しながら学びを深められる環境が整っています。

時間割例（3年次前期）

	月	火	水	木	金
1					
2		経済学2: マクロ経済学Ⅱ		アフリカ 地域研究1: 民族誌から学ぶア フリカの生活世界1	
3					開発経済学3: 開発経済学
4	教養外国語 (フランス語 B1)	アフリカ地域 研究演習3: フィールド人類 学・地域研究		国際協力論1: 気候変動と開発	
5	AI-データサイエンス1: 分析基礎としてのデー タサイエンス入門	国際経済学1: 国際経済学Ⅰ		国際経済学演習1: 国際経済論(専門 演習)Ⅰ	英語B1: Academic English: Skill based - Speaking focus
6					

PICK UP CLASS

アフリカ地域研究1:民族誌から学ぶアフリカの生活世界1
現地に入り込んで研究する文化人類学者の鋭い視点に触れ、私自身のガーナでの留学にも大きな影響を与えた授業だと感じています。

国際日本学部

School of Japan Studies

学びのキーワード

留学生と一緒に学ぶ

英語で日本のこと

現代日本が抱える問題

日本の社会や文化

日本語教育



国際日本学部の
webサイトも
ご確認ください

コース

- ◆ 日本社会分野
- ◆ 日本文学・文化分野
- ◆ 日本語学分野
- ◆ 日本語教育学分野



国際日本学部の
紹介動画は
こちらから



学びの特長

多様な背景を持つ学生と共に、世界の視点で「日本」を学ぶ

日本そのものをフィールドとして、分野を超え、多角的な視点で日本を捉え直します。具体的には、日本の社会（政治・経済・歴史）、文学・文化、日本語、日本語教育の4つの領域を横断的に学びます。また、英語と日本語の両方をコミュニケーションツールとして使い、日本人学生と外国人学生が同じ教室で一緒に学ぶことも特徴です。留学生は、各学年の定員の4割を占めます。1年次の導入科目では、必修の授業がオールイングリッシュで開講される一方で、日本語による読解力・分析力を高めるプログラムも用意しています。課題解決型のアクティブ・ラーニングもあり、異なる背景・母語を持つ学生が協働して課題に取り組むことで自律性を涵養します。所定の課程を履修することで、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得することも可能です。外国にルーツを持つ子どもが増える中で今後さらにニーズが高まっていく日本語教育のスキルと多文化社会に対する知見を持った国語教員を目指すことができます。



卒業後の進路

世界展開する日本企業／新聞社・放送局などのマスメディア／観光・運輸業／国際機関／官公庁／通訳や翻訳の仕事／日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関／中学・高校の国語教員／大学院進学 など

取得可能な教員免許状

国際日本学部 国際日本学科	中学校	高等学校
	国語	国語

Message from the Dean 学部長メッセージ

国際日本学部の大きな特徴の一つは、日本について英語と日本語で学修することです。2つの言語で学際的な内容を学び、議論します。また、留学生にも日本語のスキルが求められます。決して楽なカリキュラムではありませんが、異なる背景を持つ学生が共に学び、議論をしながら共通の課題解決に取り組む姿勢を養うことは、非常に意義があると考えます。日本や日本社会に対する通俗的な思い込みを壊して、一から作り直す機会にもなるでしょう。将来、日本について発信していきたい人、世界の視点で日本を見つめ直したい人、そういう学生にぜひ来てほしいと思います。

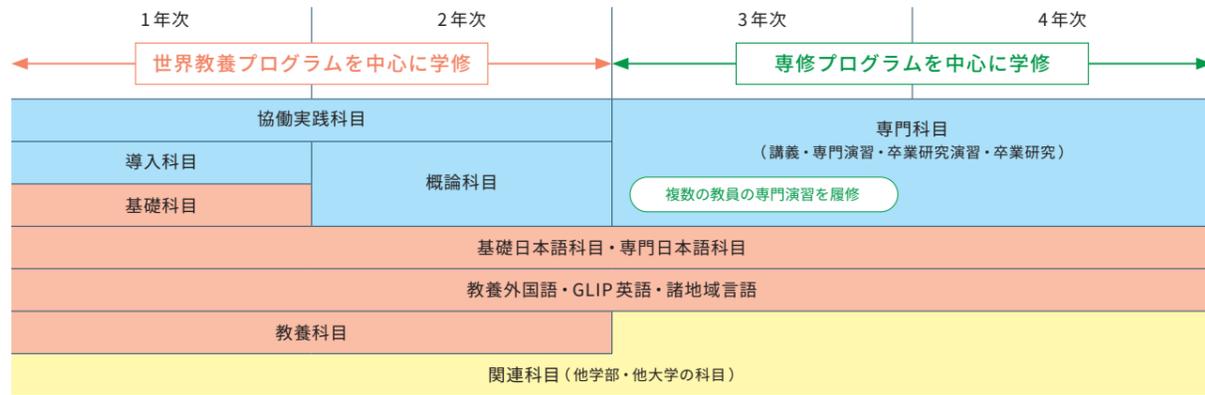
国際日本学部長 伊集院 郁子



国際日本学部教員
紹介はこちらから



国際日本学部 4年間の学修の流れ



1、2年次は、3学部共通の「世界教養プログラム」から興味のあるトピックを選んで学修します。また、本学部独自の「協働実践科目」により、多様な背景を持つ人々と協働して課題を解決する手法を学びます。3年次からは、専門科目の講義・専門演習に取り組みます。



世界教養プログラム P.15 ▶

大学生としての基本的な能力、専攻地域についての基本的知識、専攻言語やその他の言語などを身につけます。3学部共通のプログラムです。

専修プログラム

大学での学びの集大成である「卒業研究」に向けて、「導入科目」→「概論科目」→「専門科目」というステップで専攻領域の学びを身につけていきます。3年次からは専門科目の講義・演習が開始。複眼的に日本を見る力を養うため、専門演習は複数の教員の演習を履修します。

多角的な視点から日本について学ぶ

社会や文学・文化、言語、言語教育などの多様な観点から日本を捉え直し、客観的な根拠に基づく確かな知識を積み上げられる授業を数多く用意しています。また、課題解決型の授業によって、異なる背景を持つ人々と議論しながら共通の課題に取り組む姿勢を養います。

日本そのものをフィールドとして、多角的な視点で日本を捉え直す

PICK UP!



日本近現代文学の「古典」とその余波

日本文学・文化演習

担当教員 イリナ ホルカ

日本近現代文学の「古典」となりつつあるテキストおよび国内外の研究文献を読み、既存の研究動向と新たな解釈の方向性を探ります。西洋理論を日本文学に適用する際の利点と課題を理解し、翻訳・翻案・アダプテーションなどが文学テキストに及ぼす影響を批判的に考察する力を養います。さらに、多角的な視点から文学を読み解く姿勢を身につけます。

PICK UP!



社会言語学の視点から見た日本語

日本語学概論

担当教員 嶋原 耕一

社会言語学の視点から日本語の使われ方を学び、言語と社会の関係を理解することを目指します。日本語が社会の中でどのように機能し、変化し、位置づけられているのかを、講義や文献読解、発表を通して多角的に考察します。理論と実例を結びつけながら、日本語への理解を深める力を養います。

TOPIC

4年間で2つの学位が取れるダブル・ディグリープログラム

国際日本学部では、日本と海外で2つの学位を取得できるダブル・ディグリープログラム制度を導入しています。現地に1年～1年半留學し、双方に卒業研究を提出します。現在、イギリスのランカシャー大学、オーストラリアのメルボルン大学と行っています。

Interviews with Current Students School of Japan Studies

国際日本学部 | 在学生インタビュー

Q

なぜ国際日本学部を選んだのですか？

Answer

高校生の時に、英語の授業や帰国子女の友人達との交流を通して、日本語や日本文化を他者に伝えることの難しさを実感したからです。日本生まれ日本育ちの自分にとって母語である日本語と文化は当たり前存在ですが、改めて言語化し他者に伝えるとなると難しく、多様な観点から幅広く学びたいと思いました。

国際日本学部 4年
市田 夏実さん

学際的に日本を学び、 関心を広げる学部

入学当初は日本語教育を中心に学びたいと考えていましたが、授業を通して関心の幅が広がり、現在は日本におけるコンテンツツーリズムをテーマに卒業論文を執筆しています。アニメの聖地巡礼に代表される観光形態を、日本社会や文化との関係から考察しています。日本語教育、文化、文学、社会など多様な分野の授業が用意され、学際性を重視する国際日本学部だからこそ、自分の興味に新たな方向性を見つけることができました。また、言語や文化への関心を持つ多様な学生と日常的に交流できる点も大きな魅力です。英語による授業や留学制度を通して視野を広げながら、日本と世界をつなぐ学びを深められる環境を整っています。

時間割例 (3年次前期)

	月	火	水	木	金
1					
2			日本語学演習3: ことばとメディア	第二言語習得論1: 日本語の第二言語習得論1	
3			文化と芸術1: 21世紀のフェミニズム	日本語教育学演習3: SLA文献読解1	日本文化1: Feminism and gender in Japan
4	日本語教育学演習7: 認知言語学	多文化社会論: 外国につながる子どもと教育	GLIP English B1: Academic English	多文化社会演習1: コンテンツツーリズム入門	日本史1: 近世都市の身分的周縁
5	教養外国語(フランス語A1)	異分野横断研究1			
6					

PICK UP CLASS

日本語教育学演習7: 認知言語学

毎回の講義とグループディスカッションで、認知言語学の理論をどう理解し整理するか頭を悩ませましたが、議論を通して視点が広がり、大きな達成感を得たことを覚えています。

東京外大での生活



TUFSアカデミック・サポート・センター (通称:たふさぼ)

本学では、学生の学修を支援するためにTUFSアカデミック・サポート・センターを開設しています。学修や履修に関する相談、関心に応じた学修プログラムなどの紹介、卒業論文のテーマや進路(大学院進学など)に関する助言など、多様なサポートを提供しています。教員・大学院生が対応し、学生が効果的に学修を進める手助けを行います。



「たふさぼ」はwebでもご確認いただけます



国際日本学部
2年
渡部 りささん

今年は海外留学に挑戦！日本を客観的にみる経験をしたい。

言語文化学部
ベトナム語/
東南アジア地域2年
田中 ゆずさん

さまざまな地域の文学作品や文化史を学ぶことが本当に楽しい！

国際社会学部
中央アジア地域/
モンゴル語2年
野口 真由さん

専攻地域であるモンゴルの開発・発展を多面的に学んでいきたい！

TUFSアンバサダー[※]に聞く、 東京外大が選ばれる理由とは

※ TUFSアンバサダー：学生入試広報ボランティア
(2024年時点の情報)

Q 東京外大や学部の魅力を教えてください。

- 田中**：私が感じている東京外大の魅力は、自分が知らなかったものの見方や価値観が無数に存在することに気づけること。私は言語文化学部なので専攻言語の授業でベトナム社会の文化を学ぶほか、海外のさまざまな地域について学んでいますが、多くの地域について学ぶほど、自分の感じていた「当たり前」を見直し、多様な他者の立場を踏まえて考えることの大切さを実感しています。
- 野口**：外国語や国際系の学問に特化した大学なので、多様性を受け入れるフレンドリーな学生が多いですね。留学生と交流する機会も多く、国籍や価値観の異なる人たちと専門的な議論を交わすことはとても刺激的です。学生数は約4,000人と多くはないですが、1年生から大学院

生までの縦のつながりがあり、少人数制の授業などアットホームな環境で学ぶことができるのも大きな魅力だと感じています。

渡部：私もアットホームな雰囲気大好きです。先生との距離も近く、課題の相談などにも丁寧に乗ってもらえますよね。私の所属する国際日本学部では日本語のおもしろさに改めて気づくなど、日本語や日本社会について再発見できる学部です。英語に限らず、1年生のうちから外国語としてさまざまな言語を学ぶことができるのも楽しいです。自分の学んだ言語を使って留学生とコミュニケーションが図れるので、語学習得の励みになります。

Q 現在の目標や進路を教えてください。

- 野口**：現在の目標はモンゴル語と英語の上達です。今年の夏から1年間モンゴルへ留学するので、渡航前に語学力を高めて現地では多くの学びを得たいと思っています。大学生活全体を通しての目標は、専攻地域だけではなく世界について幅広く知ることです。進路についてはまだ漠然としていますが、グローバルに働き、海外に拠点を移すことが夢です。
- 田中**：3、4年生では大学院進学も視野に入れて文学理論やさまざまな地域の文学作品について学び、知的好奇心の向くままに自分の興味関心をより深めていきたいです。そして、恵まれた学びの環境が整っているこの大学で、常にものごとに対して真剣に向き合い考え続ける姿勢を身につけたいと思っています。
- 渡部**：今年はニュージーランドへの派遣留学が決まっているため、留学先で政治学やジェンダー学をしっかりと学びたいです。将来的には世界と関わりつつ日本に貢献できる仕

事をしたいと考えています。海外で働きながら日本と現地の外交に携わることや日本の魅力発信、人的交流の促進を行う広報分野に興味があります。



TUFSアンバサダーのブログ・SNSや交流イベントについてはこちら！



キャリア形成と就職活動支援

就活情報をCHECK!



学部生として充実した時間を過ごした先には、新たな未来が待っています。一般企業への就職、外務省をはじめとする官公庁への就職、さらに学問を究めるための大学院への進学。学生一人ひとりが、自らの人生を設計し、主体的な進路選択・職業選択を行うように、学内に設置したグローバル・キャリア・センターでは各種ガイダンスやセミナーの実施、免許・資格の取得支援などさまざまなプログラムを用意しています。また、国内外のインターンシップ参加を支援するほか、キャリアに関する知識を学べる科目を用意し、自らのキャリアを考える機会を設けています。

グローバル・キャリア・センター

一人ひとりの学生が、自立した社会人として生きがいと働きがいに満ちた人生を送ることができるよう、自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。グローバル・キャリア・センターでは、各種ガイダンスやセミナー、外交官等国家・地方公務員プログラム、免許・資格取得支援、専任キャリア・アドバイザーによる個別相談などを行っています。



キャリア・アドバイザー面談

キャリア支援の専門家であるキャリア・アドバイザーによる面談を受けることができます。キャリア形成や進路選択の相談の他、エントリーシートの書き方や面接対策、Web適正テストや公務員試験対策の本など、就職に関する多くの書籍を閲覧したり、借りたりすることができます。



就活関連書籍の貸し出し

就職活動に役立つ書籍を貸し出すコーナーがあります。業界地図や自己分析の方法、エントリーシートの書き方や面接対策、Web適正テストや公務員試験対策の本など、就職に関する多くの書籍を閲覧したり、借りたりすることができます。



ガイダンス・セミナー・プログラム等

全学年対象のセミナーを数多く開催しています。1・2年生向けにはキャリアを考えるためのガイダンス、2・3年生向けには就活や企業研究のセミナー、就活が直前に迫った学生には面接実践講座など、段階に応じたプログラムを用意しています。



求人・インターンシップ情報の閲覧

多数の求人情報が閲覧できます。また、「働くこと」を実際に体験し、今後の大学生活や将来設計に役立ててもらうため、インターンシップ情報の提供やサポートを行っています。学校推薦による海外でのインターンシップや、官公庁や地方公共団体、公益法人等が実施するインターンシップに大学を通して応募する制度などを設けています。



卒業生によるサポート

同窓会組織である「東京外語会」が学内に設置している「外語会プラザ」では、各界で活躍する本学卒業生が就職相談に応じています。進路選択の上での悩みや社会に出てからのキャリア形成など、豊富な経験と深い見識をもつ卒業生が、経験を活かしてアドバイスをしています。また、グローバル・キャリア・センターにおいても、企業等で働く卒業生の訪問(OG・OB訪問)のための情報を閲覧することができます。



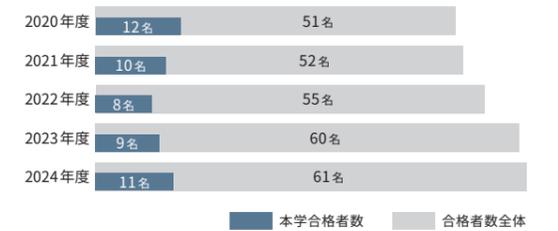
キャリア形成支援プログラム

学生の皆さんが自分のキャリアを考え、実現していくために役立つプログラム(業界研究、グループディスカッション対策、グループ面接対策など)を用意しています。

外交官等国家・地方公務員プログラム

ひとくちに公務員といっても、その業務内容はとても多様で、それぞれの職務に応じた広い知識と高い理解力が求められます。本プログラムにより、進路選択と受験準備を支援しています。

外務省専門職員合格実績



就職者数上位企業一覧(過去5年)

【公務】 外務省 防衛省(自衛隊等含む) 東京都庁 横浜市役所(神奈川県) 出入国在留管理庁/ 東京出入国在留管理局 農林水産省 国立国会図書館 国土交通省 在外公館派遣員 文部科学省 警視庁 埼玉県庁	朝日放送テレビ(株) (株)NTTデータ・アイ パーソルビジネスプロセス デザイン(株) 【鉱業、採石業、砂利採取業】 (株)INPEX ENEOS Xplora(株) 石油資源開発(株) コスモエネルギーホールディ ングス(株) 【製造業】 沖電気工業(株) ダイキン工業(株) トヨタ自動車(株) (株)日立製作所 日本アイ・ピー・エム(株) 本田技研工業(株) 味の素(株) いすゞ自動車(株) 三菱重工業(株) スズキ(株) ENEOS(株) (株)小松製作所 住友電気工業(株) パナソニック(株) 川崎重工業(株) 富士フイルム(株) 三井化学(株) 日本製鉄(株)	(株)クボタ ソニーグループ(株) (株)大協精工 (株)プリマストーン 住友化学(株) (株)マキタ プラザー工業(株) セイコーエプソン(株) 富士通(株) 三菱電機(株) 日本ガイシ(株) 東レ(株) TOPPAN(株) 出光興産(株) 東ソー(株) 三菱ケミカル(株) (株)ニデック 京セラ(株) (株)東芝 日本電気(株)(NEC) セイコーウオッチ(株) 【建設業】 住友林業(株) JFEエンジニアリング(株) 大和ハウス工業(株) 日揮ホールディングス(株)	【運輸業、郵便業】 日本航空(株) 郵船ロジスティクス(株) 日本通運(株) 日本郵船(株) 川崎汽船(株) 全日本空輸(株) (株)商船三井 (株)二葉 ANAエアポートサービス(株) (株)日新 東日本旅客鉄道(株)	三菱商事(株) 住友商事グローバルメタルズ(株) 豊田通商(株) 丸紅(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 兼松(株) 住友商事(株) 三井物産(株) JFE商事(株) Umios(株)	【教育、学習支援業】 国立大学法人東京大学 【不動産業、物品賃貸業】 イオンモール(株) 【医療、福祉】 (株)ベネッセスタイルケア 日本年金機構 【サービス業/その他】 (独)日本貿易振興機構 (JETRO) パーソルキャリア(株) (株)JTB (独)国際交流基金 (独)国際協力機構(JICA) (株)星野リゾート・マネ ジメント (株)リクルート (株)JTBグローバルマー ケティング&トラベル (株)セコム(株) アパグループ (株)西武・プリンスホテ ルズワールドワイド
【情報通信業】 楽天グループ(株) 日本タタ・コンサルタンシー・ サービス(株) 日本放送協会(NHK) Earth Technology(株) (社)共同通信社 アマゾンジャパン(同) (株)日本経済新聞社 (株)パンダイナミックエンター テイメント エン・ジャパン(株) いすゞインテック(株) (株)読売新聞東京本社 BIPROGY(株) KDDI(株)	(株)クボタ ソニーグループ(株) (株)大協精工 (株)プリマストーン 住友化学(株) (株)マキタ プラザー工業(株) セイコーエプソン(株) 富士通(株) 三菱電機(株) 日本ガイシ(株) 東レ(株) TOPPAN(株) 出光興産(株) 東ソー(株) 三菱ケミカル(株) (株)ニデック 京セラ(株) (株)東芝 日本電気(株)(NEC) セイコーウオッチ(株)	【金融業、保険業】 SMBC日興証券(株) (株)三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行(株) (株)三井住友銀行 (株)みずほフィナンシャルグループ 大和証券(株) 三井住友信託銀行(株) (株)日本政策金融公庫 (株)電通 東京センチュリー(株) 第一生命保険(株) 明治安田生命保険(相)	【卸売業、小売業、漁業】 伊藤忠商事(株) (株)ファーストリテイリング 双日(株)	【卸売業、小売業、漁業】 伊藤忠商事(株) (株)ファーストリテイリング 双日(株)	【卸売業、小売業、漁業】 伊藤忠商事(株) (株)ファーストリテイリング 双日(株)

大学院生メッセージ



「好き」を研究に変え、社会へつなぐ大学院生活

学部で芽生えた日本語研究への関心を、より専門的に深めたいと考え大学院へ進学しました。大学院では、自分がもともと熱心に聞いていた日本の伝統芸能である落語に注目し、文字化された「言語」からみた落語の構造的特徴に加え、身振りや手振りなどの「非言語」が実際の語りにどのように関わっているのかについて、具体的な資料をもとに分析しています。少人数制のゼミでは先生から丁寧な指導を受けながら、学生同士で議論を重ね、研究を多角的に捉え直すことができます。学部での学びを発展させ、体系的に研究へ取り組める環境が東京外大の大学院の魅力です。

総合国際学研究科 国際日本専攻 国際日本コース 2年
 2024年3月 国際日本学部卒 市川 尚寿さん

本学大学院への内部進学者に対する支援

大学院先取り履修制度 (大学院科目等履修生)	大学院への進学を予定する特別に認められた学部学生が、本学大学院博士前期課程の授業科目を先取り履修できる制度を設けています。学部卒業前に大学院科目を履修することで、問題意識を高め、研究テーマを絞り込み、大学院で修士論文に向けた研究により多くの時間をあてることができます。本制度の利用により、1年で修士号を取得することも可能です。
検定料無料	本学学部学生が4年次在籍時に博士前期課程特別選抜(推薦入試)を受験する場合、検定料は無料になります。
TUFS 修学支援制度	本学大学院博士前期課程の入学試験のうち、特別選抜(推薦入試)による合格者の成績上位30名は、大学院の入学金が全額免除されます。また、このうち成績上位20名については、入学金の全額免除に加え、博士前期課程での在籍2年間において、授業料の半額が免除されます。

東京外国語大学 附属図書館

本学の附属図書館は、地上4階の建物です。メインフロアは2階です。2階から4階までの3層吹き抜けと大きなガラス窓による構造が特徴で、開放感あふれる造りとなっています。1階に電動集密書架を設置し、さまざまなコレクションや学術雑誌のバックナンバーを収蔵。また、3階は各分野の日本語・英語の基本図書、4階には多言語の言語・文学関係の図書を収蔵しています。授業のある期間の来館者数は、1カ月で約1万人(2025年度実績)。閉館時間は毎日20時(日曜日を除く)で、土曜日も開館しているので、じっくり調べものや勉強をすることができます。

webでもCHECK!



アジア・アフリカ言語文化研究所 文献資料室

アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)には、アジア・アフリカ諸地域の言語・文化に関わるさまざまな参考図書や資料を揃えた文献資料室があります。その中には、現地の教科書のコレクションや、現地の言語で書かれた歴史書、また各先生方が現地で自ら収集した貴重な資料なども含まれています。



図書館の相互利用

本学を含め、多摩地区の6大学から成る多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)。加盟大学の蔵書合計約370万冊を、相互に無料で利用できます。

TAC構成大学=国際基督教大学(ICU)、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学、東京外国語大学

東京外国語大学出版会

言語や地域の研究・教育の成果をまとめた本学ならではの書籍や教科書を数多く刊行しています。『世界を食べよう!』などの一般書も好評です。毎年春には、無料の読書冊子『peria(ピエリア)』も発行。本学教員が寄稿したエッセイや、在学生や留学生が薦める書籍などを読むことができます。



VOICE

豊富な言語に対応した図書が、語学学習の大きな助けに

高校時代に留学先でスイス人の友人と出会ったことがきっかけで、国際社会学部の中央ヨーロッパ地域ドイツ語専攻で学び始めました。附属図書館は専門性の高い蔵書が揃うほか、豊富な言語に対応した図書が収蔵されている点が魅力です。私は専攻のドイツ語のほかに、スペイン西北部で話されているガリシア語を自主的に勉強しているのですが、ガリシア語の学習本は絶版になって流通していないものも多く、希少な蔵書は語学学習に非常に役立っています。また、一人で集中して勉強するだけでなく、4階のラーニング・コモンズを利用し、友人と一緒に意見交換や課題の相談をするなど多様な使い方をしています。



国際社会学部
中央ヨーロッパ地域/
ドイツ語 4年(取材当時)
水上 有紀さん

VOICE

新たな分野や言語と出会う、知的好奇心が満たされる場

幼い頃から英語が好きで、外国語や国際的にひらかれた大学に行きたいと考え、専攻言語・地域の豊富な東京外大に入学しました。附属図書館は平日の空き時間や土曜日の午後など、授業の課題や自主学習を進めたい時によく利用しています。閲覧室のほかPC室や個室などがあり、目的に応じて使える点が便利です。また大学近くで一人暮らしをしているため、時間が空くと意識的に図書館を訪れるようにしています。具体的な目的がなくても図書館に行けば読みたい本ややりたいことが見つかり、気づけば夢中になって何時間も過ごしています。書架散策し、知らない分野や言語の本を気軽に手に取れる環境があるのもありがたいです。



言語文化学部
モンゴル語/中央アジア地域
4年(取材当時)
北島 成愛さん

貴重図書

附属図書館では、明治維新前後に日本で出版された外国事情や外国研究書などの貴重な図書を収蔵しています。その中には、本学の前身である東京外国語学校出身の二葉亭四迷が、『あひゞき』を翻訳する際の底本にしたとされるサラエフ兄弟社版の「ツルゲーネフ作品集」なども残されています。



1887年(明治20年)に作られた『露和字彙』は、当時の本学の露語(ロシア語)の教授陣が編纂した辞書です。



サラエフ兄弟社版「ツルゲーネフ作品集」には、二葉亭四迷が線引きをしながら読んだ跡が今も残されています。



部活・サークル

体育系サークル48団体、文化系サークル49団体が活動中です。舞踊・ダンス、国際交流やボランティアなど、東京外国語大学ならではのサークルもあります。



インドネシア舞踊部

きらびやかな衣装やメイクが特徴的なエスニックな舞踊の部活で、毎週日曜日にバリ出身の先生を外部から招きレッスンをしています。外語祭での公演のほか、府中市のさまざまな施設や団体からの依頼を受けて舞踊を披露し、地域社会に対して文化的な多様性を提供しています。

言語文化学部 朝鮮語／東アジア地域 4年(取材当時)
部長 村上 夕奈さん

東京外大ならではの部活動

舞踊を通して外国文化を伝える、

チアリーディング部RAMS

初心者が多いチームのため、基礎を大切に学年の枠を超えて切磋琢磨しています。大会ではチーム一丸となってベストを尽くし、全日本学生選手権大会2年連続優勝を成し遂げました。地域のイベントにも積極的に参加し、チアリーディングの楽しさを多くの人に広めています。

言語文化学部 英語／北西ヨーロッパ地域・北アメリカ地域 2年(取材当時)
部長 佐藤 ひなたさん

全国優勝の実績を持つ、男女混成チアリーディング部



部活・サークル一覧

■球技

- アメリカンフットボール部
- ラグビー部
- 男子サッカー部
- 女子サッカー部
- 硬式野球部
- 軟式野球部
- 男子硬式テニス部
- 女子硬式テニス部
- ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- バドミントン部
- 卓球部
- フットサル部
- ラクロス部
- 男子フライングディスク部
- 女子フライングディスク部
- フロアボールクラブ

■陸上・滑走競技

- 陸上競技部
- 水泳部
- フィギュアスケート部
- 端艇部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部

■武道・武術

- 剣道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 合気道部
- 弓道部
- フェンシング部

■舞踊・ダンス

- スペイン舞踊部
- フィリピン民族舞踊部
- ベリーダンス部
- ストリートダンス部
- クラシックバレエ部
- インドネシア舞踊部
- 朝鮮舞踊部
- 競技ダンス部
- チアリーディング部
- ポンドダンスサークル
- カタクダンス部
- ベトナム舞踊同好会
- K-POPカバーダンスサークル
- アルゼンチンタンゴサークル
- タップダンス同好会
- フラチーム

※このほか、多数の同好会があります。

■音楽・芸術

- 管弦楽団(オーケストラ部)
- カンテ研究会
- サルサ研究会
- アカペラサークル(LINES)
- ピアノサークル(NOPIA)
- GMC(軽音)
- ダルマダーツ(軽音)
- モダンジャズ研究所
- ブラジル研究会
- 混声合唱団コール・ソレイユ
- ロシア民謡研究会(ルムーク)
- 写真部
- 美術部
- 劇団ダダン
- 映画研究会
- 漫画研究会
- TUFS Create
- XBULL
- アコースティックサークル(AA)
- ロシア語劇団
- 吹奏楽団

■伝統文化

- 伯牙会(和楽器)
- 華道部
- 表千家茶道部
- 裏千家茶道倶楽部
- かるた会
- 着付けサークル

■語学・社会

- 英語研究会(E.S.S.)
- 模擬国連
- シリア研究会
- MPJ Youth
- ロシアサークル リューポーフイ
- TUFPOST
- セクマイサークル Pas A Pas
- バルカン研究会
- 法律研究サークル円丹会
- クイズ研究会
- 手話サークル
- TUFS Japaneque
- TUFS世界のボードゲーム同好会
- たふえね
- 地域活性化サークル「いもに会」

■ボランティア

- Peek A Boo(総合ボランティアサークル)
- くらふと(国際理解教育)
- くりふ(外国につながる子どもの学習支援)
- Femme Café
- 学生NGO ALPHA
- ELAN
- Mres

年間予定表	春学期		夏学期		秋学期			冬学期							
	4月	5月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月					
	入学式	オリエンテーション	健康診断	春学期授業開始	春学期授業開始	ポルト大会	9月卒業生卒業式	交換留学出発	秋学期授業開始	外語祭(5日間) ※2	英語力テスト ※3 ※4	年末年始休業	短期海外留学 ※1	卒業式	学年終わり

※1: 希望者のみ(短期海外留学に行くなら、夏学期、冬学期がおすすめ) ※2: 2026年度は11月19日(木)~23日(月・祝) ※3: 1年次学生 ※4: 12月下旬~1月上旬



外語祭 Gaigosai

毎年11月に5日間にわたって開催される、東京外国語大学の「外語祭」。
さまざまな企画を通じて世界を感じられる唯一無二の学園祭です。

Welcome!!



「外語祭」で
世界の文化に
触れてみよう!!



実行委員長 VOICE



国際社会学部
東南アジア地域/
ビルマ語 3年
奈良 静磨さん

外語祭の準備を通して、外大生同士が本気で協力する姿を目にできました。料理店や語劇は大きな負担を伴いますが、その経験が語科の結束や外大生としての誇りを育てています。委員長として、外語祭は学生一人ひとりが学びの成果と世界への視線を共有できる、外大ならではの行事だと実感しました。



1 年生

専攻地域の料理店

キャンパス中央の円形広場をぐるっと囲むように、約30店舗の地域料理店が並びます。1年生が、自分たちが専攻している地域の料理を研究し、実際に作って提供します。一度にさまざまな国の料理が味わえて、近隣住民の方にも大人気!



「語劇」の歴史とは

語劇の歴史は、1900年に行われた講演会から始まります。各国大使や皇族方も招待され、1000人を超える観客がいたそうです。その後、中断期間や何度かの名称変更を経て、1955年に当時の外語祭と語劇を上演する語劇祭が合併して、現在の外語祭が誕生。語劇は、外語祭を代表する伝統ある催しとして今も愛されています。

2 年生

さまざまな言語で 楽しめる

2年生が中心となり、各専攻言語で上演する劇です。大半の学生にとっては入学後に始めた言語ですが、見てくれる人を楽しんでもらえるよう、2年生の4月から約半年間をかけて準備します。まさに、実践的な外国語習得の場! 舞台に立つ学生と、演出や音楽、美術、広報などのスタッフの学生が一つになって最高の舞台を届けます。



第104回外語祭 開催情報

2026年秋に開催される第104回外語祭は、
以下の日程で行われる予定です。詳細が決まり次第、外語祭HPにて周知します。

- 日時 2026年11月19日(木)~23日(月・祝)
- 場所 東京外国語大学 府中キャンパス
- URL <https://gaigosai.com>



皆さんにお会いできるのが楽しみです!



キャンパス マップ

東京の西部にある、緑豊かな東京外国語大学のキャンパス。一歩中に入れば、多様な言語が飛び交い、さまざまな文化と触れ合えます。



1 研究講義棟

中央通路が地上8階までの吹き抜け構造となっています。ガラスの屋上から光が差し込む明るく開放感のある建物です。1階のガレリアでは、学生サークルや研究ゼミ・プロジェクトによる写真展や展示会、研究発表などが頻繁に行われています。上層階には教員の研究室や共同研究室が連なります。多彩な授業やゼミ研究、教育・研究プロジェクトが行われている教育と研究の中心施設です。

2 北アライバルコート

正門側にあるキューブ上のオブジェTUFST「TUFSTMONUMENT（通称「タフモニュ」）」から中央広場へと続く緑の歩道。キャンパスのメイン・ストリートとして利用されています。



3 アゴラ・グローバル

「地球の広場」という意味が込められた異文化交流施設。小窓をちりばめた外観が特徴的です。3つの同時通訳機能のある500人収容可能なホールを備えています。外語祭期間には「語劇」の公演が行われます。



4 附属図書館

280を超える言語による書籍と資料を有しており、蔵書数は約88万冊。各国の新聞・雑誌、AV資料なども所蔵しています。



5 アジア・アフリカ言語文化研究所

国内外から多くの研究者が集まる共同利用・共同研究拠点。通称「AA研」といいます。



10 保健管理センター／学生相談室

学生の疾病予防と健康の保持増進のため設置しています。健康診断や学内で起きたけがや病気の応急処置、健康相談・カウンセリングを行っています。

12 屋内運動場・課外活動施設

屋内施設は、サークル活動を楽しむ場として、多くの学生が利用しています。体育館は冷房が完備され質の高い練習環境を提供しています。



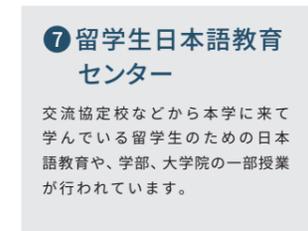
14 屋外運動場

屋外運動場は、陸上部、ラグビー部、野球部、ラクロス部など、多様なクラブが活動しています。青空の下、さわやかな掛け声が響き渡り、学生たちがスポーツを楽しんでいます。



6 大学会館 食堂／生協売店

2種類の食堂と売店があります。130人収容可能な集会室のほか、デッキ・テラスも備えています。学生が憩い、交流する場となっています。



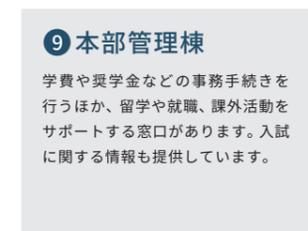
7 留学生日本語教育センター

交流協定校などから本学に来て学んでいる留学生のための日本語教育や、学部、大学院の一部授業が行われています。



8 中央広場・円形回廊

円形回廊はおもな建物をつないでおり、回廊の下を通れば雨の日も傘をささずに行き来できます。外語祭の開催時は、世界の料理店がぐるっと一周、軒を連ねて壮観です。



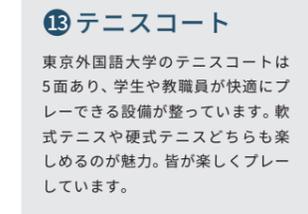
9 本部管理棟

学費や奨学金などの事務手続きを行うほか、留学や就職、課外活動をサポートする窓口があります。入試に関する情報も提供しています。



11 キャンパスの森

東京外国語大学の自然区域で、学生や教職員がリラックスしつつ、さまざまな植物や生態系を観察できる憩いの場所です。季節ごとの変化を楽しみながら、学修の合間にのんびり過ごせます。



13 テニスコート

東京外国語大学のテニスコートは5面あり、学生や教職員が快適にプレーできる設備が整っています。軟式テニスや硬式テニスどちらも楽しめるのが魅力。皆が楽しくプレーしています。



15 国際交流会館

東京外国語大学には、世界各国の学生や研究者のための居住施設「国際交流会館」という学生寮があります。留学生や研究者が異文化交流を深め、学び合うための快適な住環境を提供しています。

